

「谷川岳・一ノ倉沢ハイキング」について

特徴

みなかみユネスコ エコパークの核心地域（自然保護エリア）を地元ガイドと共に歩く半日コース。

源流の町みなかみの豊かな水をはじめ、地域特有の自然や生き物・郷土文化に直接触れることで自然保護への気持ちを深め、人と自然が調和して生きることの意義を考えるツアーです。折り返し地点の一ノ倉沢の絶景スポットは訪れる人を圧倒する迫力があります。

※ユネスコエコパーク認定地域数 129 ヶ国 714 地域（内日本国内 10 地域）2020 年度

コース

舗装された遊歩道の往復 約 6.6km 3 時間 30 分 / 1 班 13 名～ 15 名（1 ガイド）

行程（例）

- バス下車：「谷川岳ロープウェイ ベースプラザ」にて
↓<山岳ガイドがお出迎えして誘導～徒歩 50m ほど先へ移動>
- スタートポイント：「山岳資料館」
↓<往路：ガイドと一緒に班別行動でツアー約 3.3km>
- 折り返し地点：「一ノ倉沢 出合ポイント」（ビュースポット、トイレ休憩）
↓<復路：往路と同じコース約 3.3 km>
- ゴールポイント：「谷川岳ロープウェイベースプラザ」（順次到着した班からバス乗車）

○駐車場

「谷川岳ロープウェイ ベースプラザ」駐車場 バス留め置き

○雨天代案

上越線「土合（どあい）駅」構内見学（ガイド付き）

土合駅は、かつて谷川岳登山や一ノ倉沢ハイキングへの玄関口として利用され、昭和の登山ブームの象徴的な駅です。

今は利用者が少なく無人駅となっておりますが、日本一のもぐら駅として鉄道ファンに親しまれる知る人ぞ知るユニークな観光スポットになっています。

高低差約 70m・486 段の階段がある現役駅舎は、全国的にみても天然記念物級です。

土合駅紹介のブログ

<https://m-tr.jp/blog/?p=164&type=zenryoku>

